

令和元年度第4回 恵庭市史編さん委員会会議 会議録

日 時：令和元年12月19日（木） 15：00～16：10

場 所：市民会館1階 第1会議室

出席者：＜編さん委員＞ 北越会長、山田副会長、曾根委員、中泉委員、平中委員、山口委員、
高橋委員、宮田委員

（欠席者）江里口委員

＜事務局＞ 大槻企画振興部長、大西企画振興部次長

広報課職員～橋場市史担当主幹、石岡市史担当主査、山田非常勤

＜業務受託者 担当者＞ 対馬、村上、佐藤

傍聴者：なし

議 題：

■報告事項

- （1）村上委員ご逝去に伴う委員不補充について
- （2）前回会議にて挙げた意見に関する検討状況について

■協議事項

○市史原稿の内容について

- ① 第6編「社会基盤の整備」－第3章「上・下水道事業」
- ② 第6編「社会基盤の整備」－第2章「道路・公園」
- ③ 第7編「福祉と保健医療」－第4章「保健」
- ④ 第5編「産業」－第7章「観光」

会議内容（要旨）：

● 報告事項（1）村上委員ご逝去に伴う委員不補充について

- ・委員の任期が残り1年半を切っていること、編さん作業も半ばほどに差し掛かっていること、「恵庭市史編さん委員会条例」で委員数は若干名と規定されていることを踏まえ、今回については委員補充を行わず進めていきたい旨事務局より説明し、委員全員了承。

● 報告事項（2）前回会議にて挙げた意見に関する検討状況について

※下記の通り事務局より説明し、委員全員了承。

- 【「10編3章2節 恵庭市内の小学校」p.3に、恵庭小学校の前身である「公立恵庭尋常小学校」の校名由来を加筆することについて】

～当日配付資料①を用いて説明

～「エニワ」に当てられた漢字の変遷をたどると、明治30年に「公立恵庭尋常小学校」が設立された際に初めて「恵庭」の漢字が当てられたようであることが分かったため、本文中にその旨加筆していく。

- 【「10編3章2節 恵庭市内の小学校」p. 8の、島松小学校の前身校の位置について】

～当日配付資料②を用いて説明

～「広報えにわ2016年11月号」にて、島松小学校のルーツをたどる特集を組んでいた。当記事によると、島松小学校卒業生が同校の跡地調査を行ったところ、大阪氏が建てた小屋は、旧広島街道に繋がって西方に伸びる道を少し進んだところにあり、またその後移転し、桑島儀太夫氏ほか有志により建てられた「私立島松尋常小学校」は、現在本田記念病院が建っている場所に設置されていたようであることが分かった。そして、島松小学校同窓会により、同校開校120周年を記念して、校舎跡地と推定される場所付近に平成27年に記念碑が建立されていた。この記事を基に、別紙資料のとおり島松小学校の前身校の位置関係に関する記述を加筆・修正する。

- 【「10編3章2節 恵庭市内の小学校」p. 8下段の、島松小学校の沿革で記述されている「補習科」に関する制度の説明について】

～「10編1章2節 教育環境の充実」の「補習科と高等科の併設」項目にて、「補習科」の制度概要を補筆する。

- 【「6編5章 通信・情報」p. 16下段の、NHK札幌放送局によるテレビ放送が開始された年月日について】

～調査したところ「北海道では」ほぼ間違いなく、1956（昭和31）年12月22日にテレビ放送が開始されていた。しかし一部の資料には、放送開始当時の放送エリアは札幌地区のみであったとの記述もあるため、本文中の書き方を工夫する。

- 【「6編5章 通信・情報」p. 3上段9～17行目の記述内容（漁郵便局が設置されるまでの集配業務関係）について】

～引用文献としていた「広島町史」という刊行物は存在せず、「広島町の歩み」の誤りであったため修正する。また当文献からの引用内容は、明治39年に「恵庭村」が誕生する以前（明治26年頃）のものであるため、文中で「恵庭村」表記は使用せず、別の文言に修正する。

- 【「6編4章 交通・運輸」p. 12上段の、「JR恵み野駅」駅名決定の経緯について】

～当日配付資料③を用いて説明

～「恵み野の歩み 恵庭ニュータウン『恵み野』開発記念誌」および市議会会議録を確認したところ、「恵庭ニュータウン」分譲開始に伴う当区域の愛称として「恵み野」が採用され、その後昭和55年4月に市議会で新町名として「恵み野」が正式に承認され、これを受けて駅名が「恵み野駅」に決定していた。従って当経緯を踏まえた記述となるよう、別紙資料の通り文面を修正する。

- 【「6編4章 交通・運輸」p. 16下段の、国鉄バスが恵庭地域において運行を開始した時期、運行ルートについて】

～正確な情報を記述するに当たり参考となる文献を探索したところ、「国鉄北海道自動車五十年史」に恵庭地域に関わる路線、区間、開業時期等が記載されていたため、当文献を参考に記述を修正する。

○【「6編4章 交通・運輸」 pp. 17-18の、道南バス(株)に関する記述について】

～調査したところ、現在恵庭地域を通る道南バスは、道央自動車道恵庭ICに停留所があり、「おんせん号」以外にも幾つかの路線が通っていることが判明した。また、室蘭市立図書館に「道南バス七十年史」という書物が所蔵されていることが分かったため、当文献も参考にしつつ、道南バス(株)に関する記述全体が正確なものとなるよう修正する。

● 協議事項 市史原稿の内容について

※誤植等の訂正に関する内容については以下割愛。

○第6編「社会基盤の整備」－第3章「上・下水道事業」

- ・現在本市では「合流式下水道」を全て「分流式下水道」に変更するべく年次計画で整備を行っており、これが下水道事業のポイントになっているため、本文中にその旨加筆する。
- ・26～30ページの決算関係の図表について、本章に掲載するか、一般会計や他の特別会計を含めた本市全体の財政状況という括りで別立てして掲載するか、読者の目線に立って理解しやすいものになるよう、掲載場所について検討する。

○第6編「社会基盤の整備」－第2章「道路・公園」

- ・本文中に挿入されている「恵庭公園」「恵み野中央公園」の写真について、外観の特徴を十分に捉えられていないため、読者が外観をイメージしやすいものに差し替える。

○第7編「福祉と保健医療」－第4章「保健」

※質疑応答 なし

○第5編「産業」－第7章「観光」

- ・16ページ22行目より記述されている「インクラインの滝」について、以前漁川沿いを走っていた「光竜鉦山恵庭停車場線」（道道117号恵庭岳公園線の前身）が封鎖されてからは観に行くことが難しくなっているため、その旨補筆する。また、当滝はかつて白扇の滝と並ぶ景勝地であったことから、その辺の話も盛り込んで記述する検討を行う。
- ・14ページ下段16行目から記述されている桜公園について、市民約3千人が桜を植樹したとあるが、これは恵庭青年会議所が創立10周年を記念して行った事業であるため、その情報を補筆する。
- ・18ページ上段の「えにわ雪んこまつり」について、平成31年2月9日に開催した「第36回えにわ雪んこまつり」をもって終了したため、その旨加筆する。また、当イベントは恵庭青年会議所が主体となり運営していたが、町内会等の様々な団体から協力を得て行った珍しいイベントであったため、その辺の話も盛り込んで記述する検

討を行う。

- ・恵庭青年会議所が中心となり、国道36号の旧道区間で開催していた「青空天国」と、現在の「さかえ公園」内に設置していた「市民音楽堂」のイベントについて掲載の検討を行う。
- ・17ページ下段15行目から記述されている「恵庭すずらん踊り」について、当踊りは槌本市長（昭和46年4月に市長就任）が新しい郷土芸能を育てようと市民に呼びかけたことがきっかけとなり、有志が四国を訪れ、曲と踊りを作製してもらい誕生した経緯があるため、その辺の情報を書き加えるよう検討する。